

2022年1月9日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒41番（旧28番）

『讃えの歌こそ』

聖書⇒エフェソの信徒への手紙 2:1~6節（OH兄）

『さて、あなたがたは、以前は自分の過ちと罪のために死んでいたのです。この世を支配する者、かの空中に勢力を持つ者、すなわち、不従順な者たちの内に今も働く霊に従い、過ちと罪を犯して歩んでいました。わたしたちも皆、こういう者たちの中において、以前は肉の欲望の赴くままに生活し、肉や心の欲するままに行動していたのであり、ほかの人々と同じように、生まれながら神の怒りを受けるべき者でした。しかし、憐れみ豊かな神は、わたしたちをこの上なく愛してくださり、その愛によって、罪のために死んでいたわたしたちをキリストと共に生かし、——あなたがたの救われたのは恵みによるのです——キリスト・イエスによって共に復活させ、共に天の王座に着かせてくださいました。』

礼拝讃美歌⇒476番（旧266番）

『いかなる恵みぞ』

聖書⇒ヨハネの黙示録 5:12~14節（MM姉）

『天使たちは大声でこう言った。「屠られた小羊は、／力、富、知恵、威力、／誉れ、栄光、そして賛美を／受けるにふさわしい方です。」また、わたしは、天と地と地の下と海にいるすべての被造物、そして、そこにいるあらゆるものがこう言うのを聞いた。「玉座に座っておられる方と小羊とに、／賛美、誉れ、栄光、そして権力が、／世々限りなくありますように。」四つの生き物は「アーメン」と言い、長老たちはひれ伏して礼拝した。』

礼拝讃美歌⇒42番（旧72番）

『御誉れを謳わん』

礼拝讃美歌⇒23番（旧152番）

『聖なる聖なる聖なるかな』

聖書⇒フィリピの信徒への手紙 3:12~14節（ES姉）

『わたしは、既にそれを得たというわけではなく、既に完全な者となっているわけでもありません。何とかして捕らえようと努めているのです。自分がキリスト・イエスに捕らえられているからです。兄弟たち、わたし自身は既に捕らえたとは思っていません。なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向

けつつ、神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら
走ることです。』

《パン裂き》

聖書⇒マタイによる福音書 26:26～29 節 (KH 兄)

『一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱えて、それを裂き、弟子たちに与えながら言われた。「取って食べなさい。これはわたしの体である。」また、杯を取り、感謝の祈りを唱え、彼らに渡して言われた。「皆、この杯から飲みなさい。これは、罪が赦されるように、多くの人のために流されるわたしの血、契約の血である。言うておくが、わたしの父の国であなたがたと共に新たに飲むその日まで、今後ぶどうの実から作ったものを飲むことは決してあるまい。』

礼拝讃美歌⇒148 番 (旧 94 番曲のみ)

『主の御旨により』

《建徳》

聖書⇒ルツ記 2:1～3:節 (KH 兄)

『ナオミの夫エリメレクの一族には一人の有力な親戚がいて、その名をボアズといった。モアブの女ルツがナオミに、「畑に行ってみます。だれか厚意を示してくださる方の後ろで、落ち穂を拾わせてもらいます」と言うと、ナオミは、「わたしの娘よ、行っておいで」と言った。ルツは出かけて行き、刈り入れをする農夫たちの後について畑で落ち穂を拾ったが、そこはたまたまエリメレクの一族のボアズが所有する畑地であった。』

聖書⇒サムエル記上 6:9:節

『そして見ていて、それが自分の国に向かう道を、ベト・シエメシュへ上って行くならば、我々に対してこの大きな災難を起こしたのは彼らの神だ。もし、その方向に上って行かなければ、彼らの神の手が我々を打ったのではなく、偶然の災難だったのだということが分かる。』

聖書⇒マタイによる福音書 2:1～2 節 (ES 姉)

『イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。』

聖書⇒ルカによる福音書 2:8～9、15 節

『その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。

天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話し合った。』

礼拝讃美歌⇒327 番（旧 95 番）

『われの時』

《建徳要旨》

①

②